

大穂中 誇

No. 1 令和7年4月25日

つくば市立大穂中学校長 久松 和則

今年度は、生徒433名（7年生126名、8年生156名、9年生151名）、学級数18（内、特別支援学級4）で大穂中学校がスタートしました。

桜の花が満開と同時に、始業式・啓志式が実施され、新たな学年・学級での仲間や先生との出会いを喜び、笑顔で生活している様子が見られます。7年生は、あどけなさは残るものの、制服を着ると中学生としての自覚が芽生え、プライド（誇）をもって生活できるようになっています。8年生は、先輩としてのプライド（誇）をもって、大穂中学校のあるべき姿を後輩に伝えてくれています。また、学年が上がり、より一層意欲的に学習や部活動に取り組んでいます。9年生は、大穂中学校の顔としてのプライド（誇）だけでなく、一人の人間として相手を意識して行動ができるようになっています。この大切な1年間を有意義に過ごす意気込みが感じられます。



【新入生歓迎会】



啓志式後早々に新入生歓迎会が行われ、生徒会活動や委員会活動、部活動についての説明がありました。特に部活動においては、地域移行が騒がれる中、大穂中学校の部活動として熱心に活動しています。昨年度も多くの部活動が上位大会に参加し活躍が見られました。ゴールデンウィーク明けには正式入部となりますので、3年間目標をもって続けられる部活動を選んでください。

【9年生修学旅行】

4月20日から2泊3日で、大阪・京都へ修学旅行が実施されました。1日目は、大阪・関西万博の見学でしたが、最先端の技術を目の当たりにして感動や興奮を覚えました。2日目は、タクシー班別行動で京都市内を散策しました。おいしいものを食べたりお土産をたくさん買ったりし、疲れた表情の中にも満足した様子がみられました。夜は、舞妓鑑賞があり、初めて見る舞妓さんにたくさん質問をしていました。3日目は早朝から、頭や心を無にする座禅体験を行いました。平等院鳳凰堂の見学も行い10円玉と見比べている生徒もいました。この3日間で、生徒は歴史や文化を学んできましたが、それ以上に、共同生活の中で相手を思いやる気持ちや仲間との合意形成を図る大切さを学んできました。

